

慢性腎臓病治療に関するアンケート

2026年1月

謹啓、

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

MRの情報提供活動の質の向上、今後の講演会企画の参考にさせていただくことを目的に、慢性腎臓病患者への治療についてご教示いただきたく、ご協力賜れば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。なお、アンケート結果につきましては、集計後、弊社講演会企画立案に活用させていただきますと共に、弊社講演会内において、個人が特定できない形にて使用させていただきます。

謹白

実施責任者：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
心・腎・代謝領域事業本部 営業本部 関東甲信越支店
支店長 村上 寛

【ご質問】

Q1, 腎機能に関して主に判断している項目について教えてください（※複数選択可能）

血清クレアチニン値 eGFR 尿蛋白定性 尿蛋白定量 その他（微量アルブミン等）

Q2, CKD診療にあたり、eGFRスロープを活用しているか教えてください

している していない

Q3, CKD患者さんへのSGLT2阻害薬の処方タイミングで、もっとも早いものを教えてください

G3a尿蛋白なし G3b尿蛋白なし G3a尿蛋白あり G3b尿蛋白あり G4※ 未処方

※eGFR20未満の場合、本剤投与中にeGFRが低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあるため、投与の必要性を慎重に判断すること。他社品の注意点については電子添文を参照ください。

Q4, CKD患者さんを専門医へ紹介する際、もっとも早いタイミングを教えてください

G3a尿蛋白なし G3b尿蛋白なし G3a尿蛋白あり G3b尿蛋白あり G4※ 未紹介

※eGFR20未満の場合、本剤投与中にeGFRが低下することがあり、腎機能障害が悪化するおそれがあるため、投与の必要性を慎重に判断すること。他社品の注意点については電子添文を参照ください。

Q5, 慢性腎臓病患者の「治療」における診療課題と考えられている主な理由があれば教えてください

患者に治療意義を伝える事 蛋白尿/アルブミン尿が正常な患者に対する治療介入
 治療開始のタイミングを見極める事 高齢の慢性腎臓病患者に対する治療介入
 その他

Q6, 腎臓内科専門医との「連携」における診療課題と考えられている主な理由があれば教えてください

紹介理由を患者に納得してもらう説明 紹介タイミングが適切かの判断に悩んでしまう事
 地域の紹介基準が不明瞭な事 診察予約が数か月先になってしまう事
 その他

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

【弊社使用欄】*いただいた情報について、MR 活動の目的に使用し、個人情報として適切に取り扱いたします。

アンケート期間：2026年1月～2026年6月

医師名 / 施設

MR 名

日付